

フィールド7 計画の推進

◎効果・効率的な自治体経営の推進

(施) **公共施設管理システム整備費 (企画部 総合政策課)** (新規)

996千円

1 事業目的

高度経済成長期に建設された社会資本の老朽化に加え、少子高齢化・税収の低下による予算の制約が強まる中で、現在のまま、対処療法的に公共施設の維持管理を行っていけば、昭和50年代に建築された建物が2030年前後に一斉に更新時期を迎え、大規模修繕や建て替えが集中し、巨額の財政負担が短期間に必要となる。

そうした事態を避けるため、早期にアセットマネジメントによる公共施設の管理手法・管理システムを導入し、予防保全の実施による公共施設の長寿命化を図るとともに、公共施設の維持管理にかかる費用の最少化・平準化を図る。

2 事業年度

平成23年度～

3 事業の概要

公共施設管理システム(財団法人建築保全センター「保全情報システム」)を導入し、アセットマネジメントによる公共施設の管理手法により統一した、市有公共施設の管理を行う。

4 事業の内容

(1) 使用料 保全情報システム使用料 996千円

(施) **中四国・瀬戸内クルージングサミット開催事業費 (企画部 港湾管理課)** (新規)

1,000千円

1 事業目的

瀬戸内海の歴史、文化、豊かな自然を見つめ直し、クルージングによる海からの視点で瀬戸内海の魅力を再発見するとともに、地方公共団体相互の連携による広域的なネットワークによる地域の活性化、発展に寄与する。

2 事業年度

平成23年度

3 事業の概要

瀬戸内海沿岸の公共マリナーを所有する5市（三豊市、高松市、瀬戸内市、福山市、新居浜市）が平成22年8月に「中四国・瀬戸内クルージングサミット」を設立した。

昨年、三豊市で開催されたサミットに引き続き、平成23年度は、新居浜市でサミットを開催し、新居浜の魅力を内外にアピールし、関係市とのネットワークを構築するとともに、人的交流を活発にする。

4 事業の内容

「第2回中四国・瀬戸内クルージングサミット」の開催 1,000千円

開催日 平成23年7月3日（日）（予定）

場 所 マリンパーク新居浜

内 容

- ・基調講演（著名人による海路を使った人的交流のあり方、講師未定）
- ・海上クルージング
- ・近代化産業遺産の魅力について知ってもらうため、東平地区の散策

注）当日、新居浜商工会議所青年部による「マリン村」を開催予定。地域の物産等のブースも出店予定。

5 財源内訳

(1) 諸収入 250千円

(2) 一財 750千円

◎情報通信技術（ICT）の利活用と市民サービスの向上

(単) 地域情報通信基盤整備事業 (企画部 情報政策課)

(新市建設計画)

10,125千円

1 事業目的

地域の特性に応じた情報通信基盤の整備を支援し、地域間の情報格差（デジタルディバイド）を是正するため、光ケーブルの敷設を行う。

2 事業年度

平成23年度

3 事業の概要

別子山地区のブロードバンドの整備を行っているが、光ケーブルの敷設延長が別子山全体に及んでいないため、継続して光ケーブルの敷設を行い、地域全体で同様のサービスを提供する。

4 事業の内容

別子山地区（成地区）ブロードバンド整備事業
実施設計等委託及び光ケーブル敷設工事

5 財源内訳

- (1) 起債 100% 10,100千円 (過疎債 (交付税算入率 70%))
- (2) 一財 25千円